

# 「ヒューマンな長期安定雇用 の確立に向けて」

今号では、ヒューマンな長期安定雇用の確立に向けて、「雇用の移動が不利にならない賃金・労働条件の確立をめざすことが必要」との金属労協第2次賃金・労働政策の視点から、労働市場・雇用システムの変化を分析すると共に、職務別能力評価基準システムや能力・仕事別賃金実態などを中心に特集します。

今野浩一郎学習院大学教授の論文「成果主義と

働き方の多様化が求める雇用システムと労働市場」を掲載すると共に、厚生労働省が策定したわが国初の「職業能力評価制度」について紹介します。また、本年7月に開催した第40回国際労働セミナーから「雇用・職場における柔軟性と労働組合の対応」と「労働時間の柔軟性とEU雇用戦略」の2本の講演のエッセンスを掲載します。

(編集・文責) IMFJC組織総務局

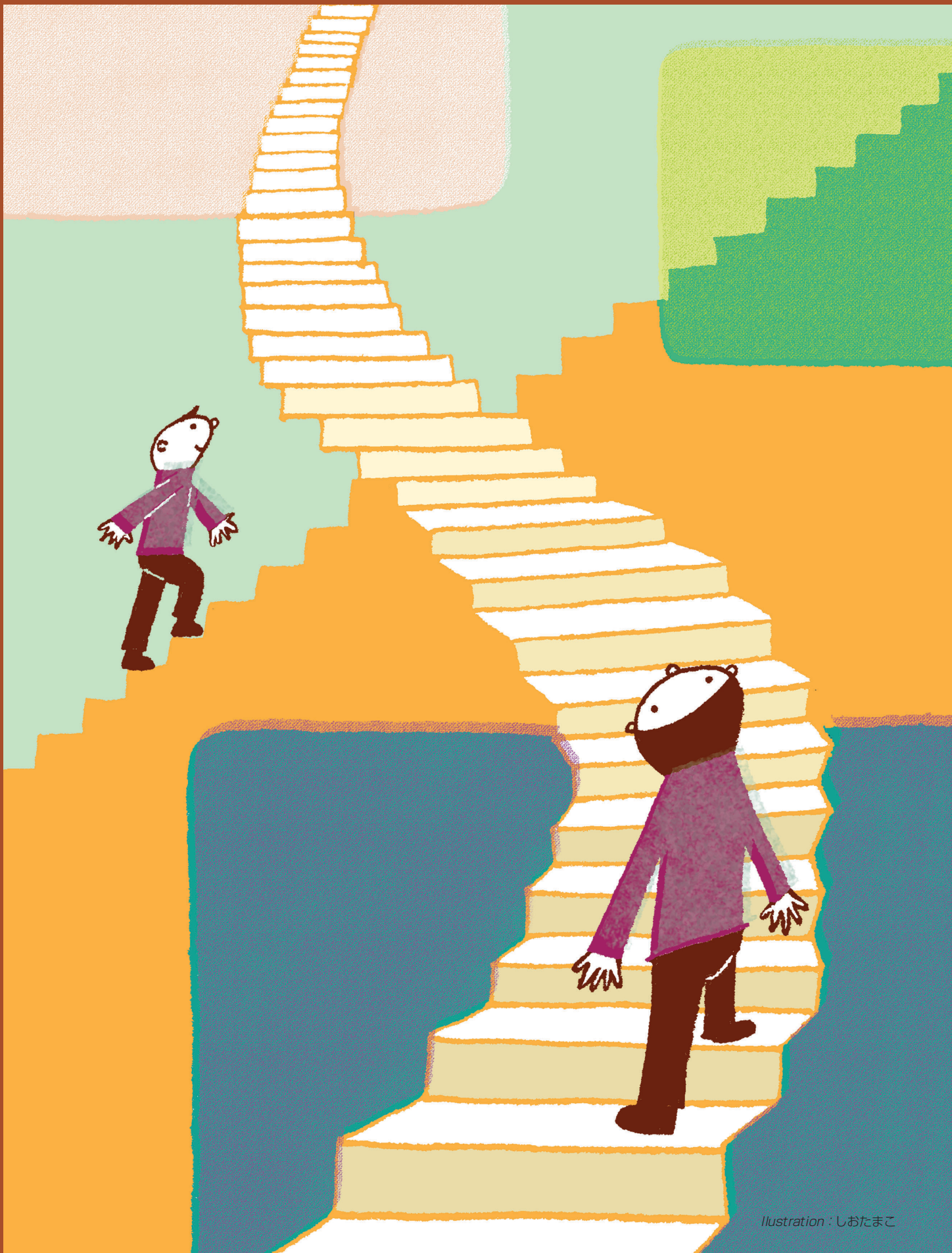


Illustration : しおたまこ